

きょうと 元気な地域づくり 応援ファンド支援事業

平成25年度 事例集



代表取締役 森本 隆さん



森本 隆さん

株式会社 DIY STYLE

ゆうさい君の籠城シートの販路開拓事業 (クッションシートの災害備蓄用販売)

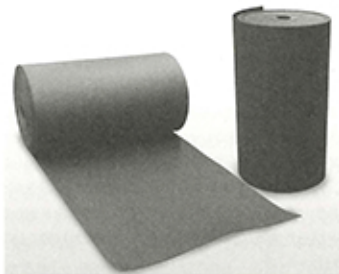
平成25年度 採択事業

舞鶴でDIY商品のネットショップを起業

株式会社DIY STYLEの代表を務める森本さんは、当初設計事務所に勤務していましたが、舞鶴にある実家の建具屋を手伝うために退職した後、ある時「ヤフーオークション」で実家の不良在庫の建材を売ったことがきっかけでネットショップを始めました。主にDIY（日曜大工）リフォーム用の商品を販売していますが、主力製品はフローリング材の「貼るだけ簡単フローリング床デコ」。素人でも簡単に床の張り替えができるようにした画期的な商品で、誰にでもベタッと貼るだけで本格的なフローリングが仕上がります。

「お客様、消費税が上がってからも売上は堅調で、一部の地域でドットと売れたりするので口コミで広がっているのかなと思っています。一般消費者向けがメインですが、1回の注文で100万売れるより10回の注文で100万売れる方が楽しいですね。小さな現場主義です。発注が来たらその日に出荷、短納期が基本です」。

こういう商品を作っている会社は、工務店や設計者の意見を重視するところが多いと思いますが、森本さんは直接お客様の声を聞き出しマーケティングに活かしています。お客様の何気ない一言からいろいろとアイデアが生まれるそうです。



「ゆうさい君」のキャラクター「ゆうさい君」のイラスト

防寒シート「ゆうさい君の籠城シート」の開発へ

国立舞鶴高等専門学校との産学連携によって「床デコ」の専用下地材「床デコシート」の製造を進めている時に、偶然とこれは災害対策にも使えるのではないかと考えていたそうですが、東日本大震災後の冬に行われた防災訓練で避難所の体育館の中があまりにも寒く、避難しても寒さに耐えられないと思ったのが開発のきっかけということです。

災害時には、避難所にとどまらず駅の構内やオフィスの床などといった場所に留まらざるを得ない場合があり

福祉向上・子育て支援

ます。特にそれが冬であれば、どんなに厚着をしても冷たい地面に身体が接していることで体温が奪われていきます。さらに、硬い床に座ったり横になったりすると、身体の節々を痛めます。一般的によく使用されるブルーシートやゴザ、ダンボールなどは、長期的な避難生活においては気体程度にしかありません。

「籠城シート」は、高い断熱性とクッション性によって、底冷え・床の硬さの両方から身を守ります。厚さわずか5ミリのシートを敷くだけで、たとえコンクリート床の上でも楽に身を横たえることができます。時に命に関わる真冬の災害対策として、なくてはならない防災用品です。また、ネーミングですが、防災用品にも何かキャラクターがあった方が親近感があるのではと考え、商工会議所青年部に所属させていただいていた縁で「ゆうさいくん」（舞鶴市のゆるきゃら）を使わせていただき、細川麻茶公の田辺城の籠城戦の逸話から「ゆうさい君の籠城シート」と名付けました。



「ゆうさい君」のキャラクター「ゆうさい君」のイラスト

販路開拓のためのマーケティング活動

営業当初は、自治体をターゲットとして地元の市役所、消防署、海上自衛隊などの官公庁に納入することができましたが、他地域の自治体への営業には苦戦することになりました。担当者の関心は高いのですが、限られた予算の中で災害対策備蓄用品として優先すべきものがまだ他にもあるという事情が多かったようです。しかし、森本さんは、宮城県仙台市での「震災対策技術展」、東京都での「東京国際消防防災展2013」、神奈川県横浜市での「震災対策技術展」など、数々の展示会に出展することで新たな販路を開拓するための活動を積極的に進めました。また、最近ではBCP（事業継続計画）策定の啓発が進んできているため、民間企業からの問い合わせが多くなっているということです。

「防災関係の展示会などで全国を回り、民間の需要が相当あるというマーケティングを行うことができました

きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業
平成25年度 事例集

ので、今後は民間の引き合いを中心にじっくりと顧客を増やす営業戦略を展開していきたいと考えています。

災害に対する危機意識を持って欲しい

2011年3月11日に発生した東日本大震災以来、災害への関心が急速に高まっています。一方、災害時の対策に関しては、多くの人が不十分と感じているようです。もし事前に十分な備えがあれば被害はもっと少なく、救えた命も多かったことでしょう。

災害は突然やってきます。起こったらどうするかではなく、起こった時のために何をすべきかを考えること、明日は我が身かもしれないという危機意識を持つことが今一番必要だと森本さんは語ります。

「いつ起こるか分からない災害に備えて、まずは何をすれば良いのか。災害時の優先順位は食べ物に目が行きがちですが、3日位食べなくても人は死にません。しかし、体力温存に寒さは大敵です。その答えの一つとして、自信を持って『籠城シート』をお薦めします。このシートを敷いて横になっていれば3日位はしのげるのです。あなたとあなたの大切な身を守るために、この製品がきつとお役に立てると信じています」。



展示会では来場者に体験してもらいました

事業概要

株式会社 DIY STYLE

<http://diystyle.jp>

代表：代表取締役 森本 隆

業種：インターネットショップによる建材・インテリア・

雑貨の販売、建材の企画・製造・輸入業務

創業：平成17年3月

住所：〒624-0945 舞鶴市高多1150-40

TEL：0773-78-1807 FAX：0773-78-2188